



葉山小だより

「自分で考え 行動する子」「仲良くする子」

令和3年度
No. 16

2022. 3. 7

葉山町立葉山小学校
校長 安達 禎崇

「葉山小だより」はペーパーレス化を行っています

- ★ 葉山小学校のホームページをご覧ください。
- ★ 紙媒体での提供を希望される方は担任までお申し出ください。

◇◇ペッパー君と学ぶ(道徳の授業／6年生)◇◇



2月17日(木)、ソフトバンク株式会社さんの協力を得て、6年生が道徳「Pepperと考える『思いやりと親切』」の授業を行いました。「ペッパー君が転校してきた。ペッパー君のためにできることは何だろう？」と一人ひとり考え、意見を交換することで、「思いやりの形はいろいろあること」「ロボットだから・・・ではなく、人間に対しても当てはまる親切があること」などに気づくことができました。

子どもたちは初めて出会うペッパー君に興味津々。授業が終わってからも踊って歌うペッパー君に釘付けでした。

◇◇何とか実現してあげたい／音楽発表会(3～6年生)◇◇

3年生以上で予定していた音楽発表会は、コロナ感染第6波の影響をまともに受け、「参観」という形での発表ができなくなってしまいました。しかし子どもたちは2学期からずっと音楽発表会のための練習を積み重ねてきています。「その成果である音楽発表会を何とか実現させてあげたい」。先生たちにも熱い思いがありました。そこで学年発表を改めクラス単位の発表とし、マスクはもちろん、間隔を取る、可能な楽曲は屋外で演奏する等の感染対策を徹底して、録画によるオンラインでの発表会を企画しています。



合唱も合奏も、お互いの間隔が大きいため、なかなか互いの音が聞き取れなかったり、屋外での演奏(写真・上)では、ピアノ伴奏が体育館の中から(写真・下)なので、よほど集中していないとテンポについていけなかったりなど、ハンディキャップの多い発表会ではあります。が、結果そこから来る子どもたちの集中力の高さ、取り組みの真剣さ、音楽表現に対する意欲には驚かされ、通常の室内演奏を凌ぐ様子も感じ取ることができます。発表は子どもたちが持ち帰るタブレットで行います。日程は決まり次第お知らせ致しますので、お楽しみに。



◇◇植樹を行いました(「葉っぱいの森」づくり/6年生)◇◇



3月1日(火)、6年生がSDGs総合学習の一環として森の再生などを通して環境保全に取り組んでいる非営利団体「シルワ」さんの協力を得て、ビオトープ付近の一角に植樹を行いました。

一人一本ずつの植樹で、120本以上が植えられたこととなります。種類はタブ、スダジイ、モチノキ等、22種類。自然に近い森づくりを目指したため、あえて混植・密植の植樹を行いました。ここから生き残った木たちによって自然の森が造られていきます。事前に地球環境における森林の役割などについて学習をしており、今回

<ご指導いただいたシルワの川下さん>

今回は、実際にその森を自分たちの葉山小学校に造ってみようという取組です。卒業してからも校門付近を通るたびに森の様子を観察してほしいと思います。また、この森は次の6年生に受け継がれていくことになっており、毎年成長し、変化していく森の様子を総合学習の時間を使って観察していきます。

<命名「葉っぱいの森」。石碑もできます>



◇◇JAよこすか葉山の記事に(総合学習/5年生)◇◇

総合学習「麦わらでお飾り作り」の活動が「JAよこすか葉山」の冊子に取り上げられました。



◇◇3つの「くじらぐも」(国語・図工/1年生)◇◇

1年生の廊下に3つの「くじらぐも」が現れました。国語で勉強した「くじらぐも」。背中に自分たちを乗せて、1年生各クラスが図工で制作しました。「おめでとう」と書かれているのは、卒業する6年生、そして新しい1年生へ向けてのメッセージです。<左から1組、2組、3組>

